

仙台空港を核とした地域活性化に向けて

～震災からの本格復興を目指して～

平成25年3月12日(火)

交通政策審議会航空分科会基本政策部会報告

宮城県



1. 仙台空港の概要

2. 仙台空港の旅客動向

3. 仙台空港の貨物取扱動向

4. 東日本大震災による仙台空港等の被災状況

5. 東日本大震災からの復旧状況

5-1. 空港の啓開作業

5-2. 空港の復旧の道のり

5-3. 航空ネットワークの順調な回復（1）～（3）

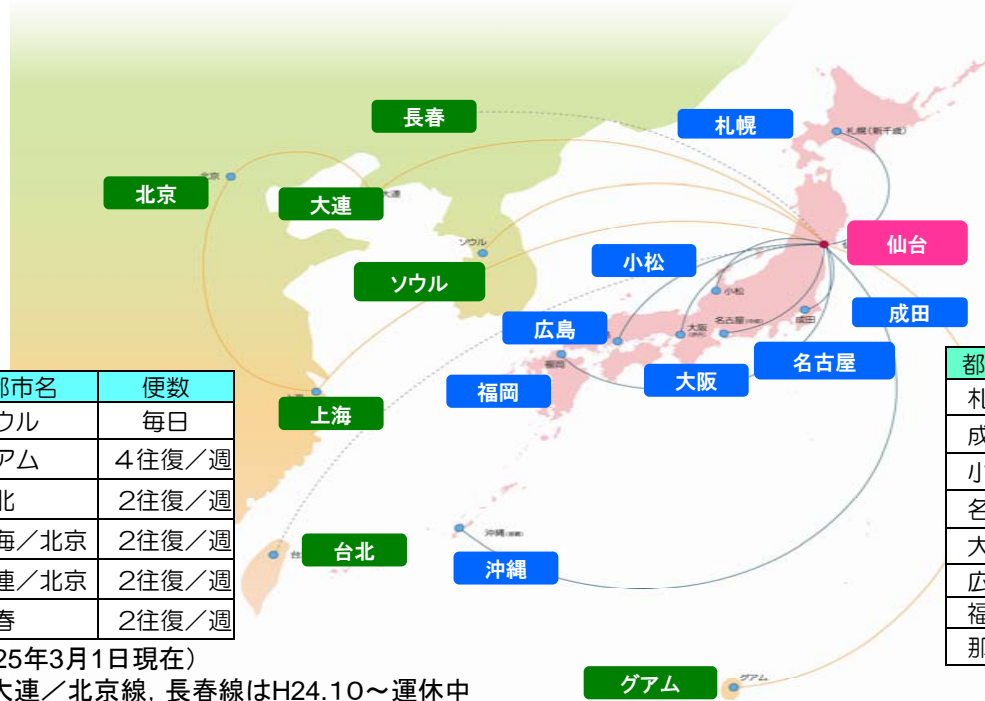
6. 仙台空港の経営改革の実現に向けた取組（1）～（2）

7. 空港経営改革の実現に向けた課題

8. 復旧にとどまらない抜本的な再構築へ

1. 仙台空港の概要

- ・ 東北唯一の国管理空港
- ・ 海外7都市, 国内8都市へのネットワーク
- ・ アクセス鉄道でJR仙台駅と直結～乗換なしで最速17分
- ・ 東北の航空貨物の拠点(エアカーゴターミナル併設)



都市名	便数
ソウル	毎日
グアム	4往復/週
台北	2往復/週
上海/北京	2往復/週
大連/北京	2往復/週
長春	2往復/週

都市名	便数
札幌	13往復/日
成田	2往復/日
小松	1往復/日
名古屋	6往復/日
大阪	15往復/日
広島	1往復/日
福岡	6往復/日
那覇	1往復/日

(H25年3月1日現在)

※大連/北京線, 長春線はH24.10～運休中

【仙台空港】

- 設置管理者: 国土交通大臣
- 空港法上の種別: 拠点空港
- 所在地: 宮城県名取市, 岩沼市
- 面積: 238.62ha
- 滑走路: 2本(1,200m, 3,000m)
- 運用時間: 7:30～21:30 (14時間)
- 運航路線: 国際線6路線7都市, 国内線8路線
- アクセス: アクセス鉄道でJR仙台駅に直結
仙台空港ICから約4km
- 旅客ターミナル: 地上4階建, 面積43,530㎡
- 貨物ターミナル: 国際貨物棟, 燻蒸庫 ※H25.6完成

仙台空港ビル(株)

設立: 昭和45年11月

資本金: 32億円

売上高: 17億27百万円(H22年度)

主な株主: 県, 仙台市, 名取市, 岩沼市,
全日空, 日本航空, 地銀等
株主数: 22団体

仙台エアカーゴターミナル(株)(SACT)

設立: 平成5年4月

資本金: 14億3,750万円

売上高: 1億41百万円(H22年度)

主な株主: 県, 政投銀, 仙台市, 名取市,
岩沼市, 空ビル, 地銀等
株主数: 52団体

仙台空港鉄道(株)(SAT)

設立: 平成12年4月

資本金: 71億2,900万円

営業収益: 6億36百万円(H22年度)

主な株主: 県, 仙台市, 名取市, 岩沼市,
JR東日本, 地銀等
株主数: 114団体

2. 仙台空港の旅客動向

- ・ 仙台空港の旅客数は世界的な経済不況等により平成20年度以降大きく減少
- ・ 震災の影響を受けた平成23年度は定期路線の長期運休により185万人にまで減少

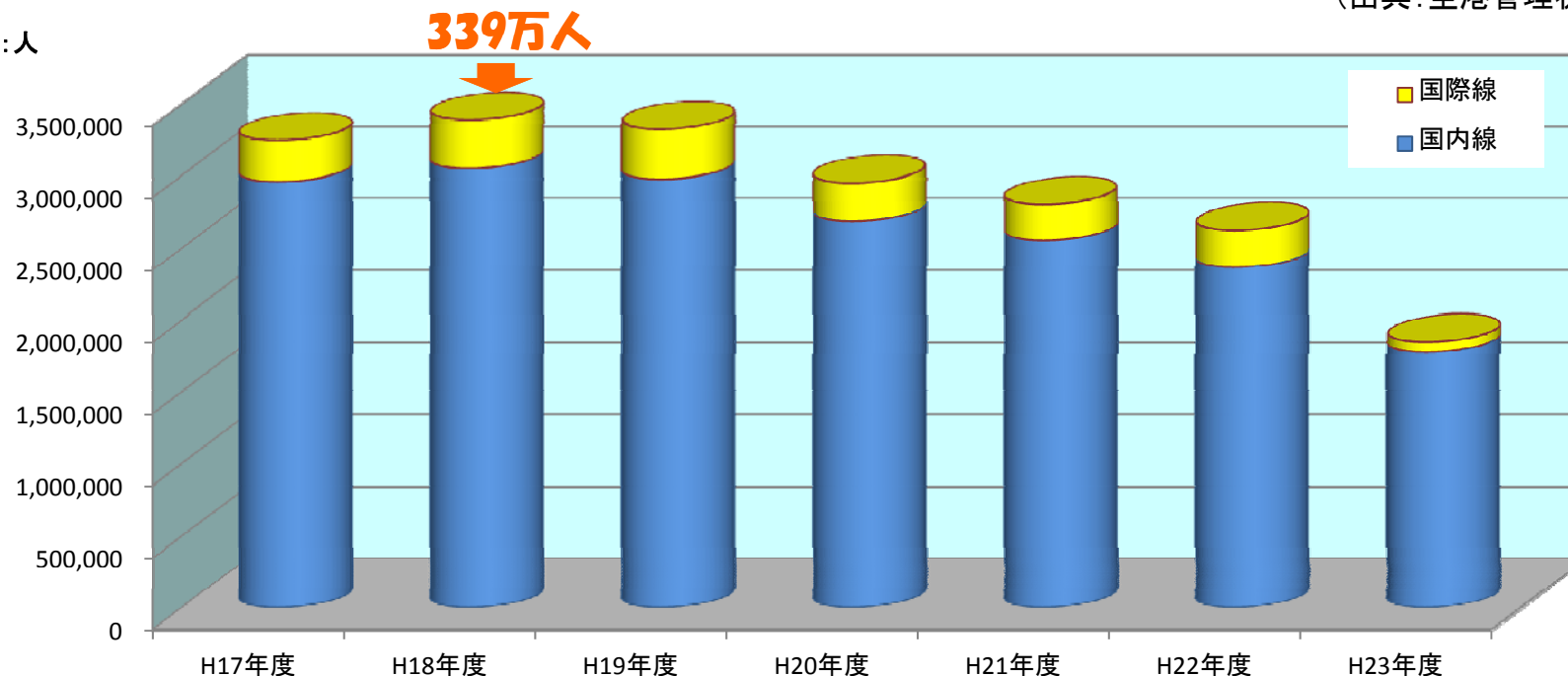
【仙台空港乗降客数の推移】

(単位:人)

年度	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度
国内線	2,955,977	3,047,955	2,973,505	2,686,360	2,552,515	2,363,415	1,776,717
国際線	288,515	339,508	349,621	260,705	246,385	258,872	69,246
計	3,244,492	3,387,463	3,323,126	2,947,065	2,798,900	2,622,287	1,845,963
対前年度比	100.3%	104.4%	98.1%	88.7%	95.0%	93.7%	70.4%

(出典:空港管理状況調書)

単位:人



3. 仙台空港の貨物取扱動向

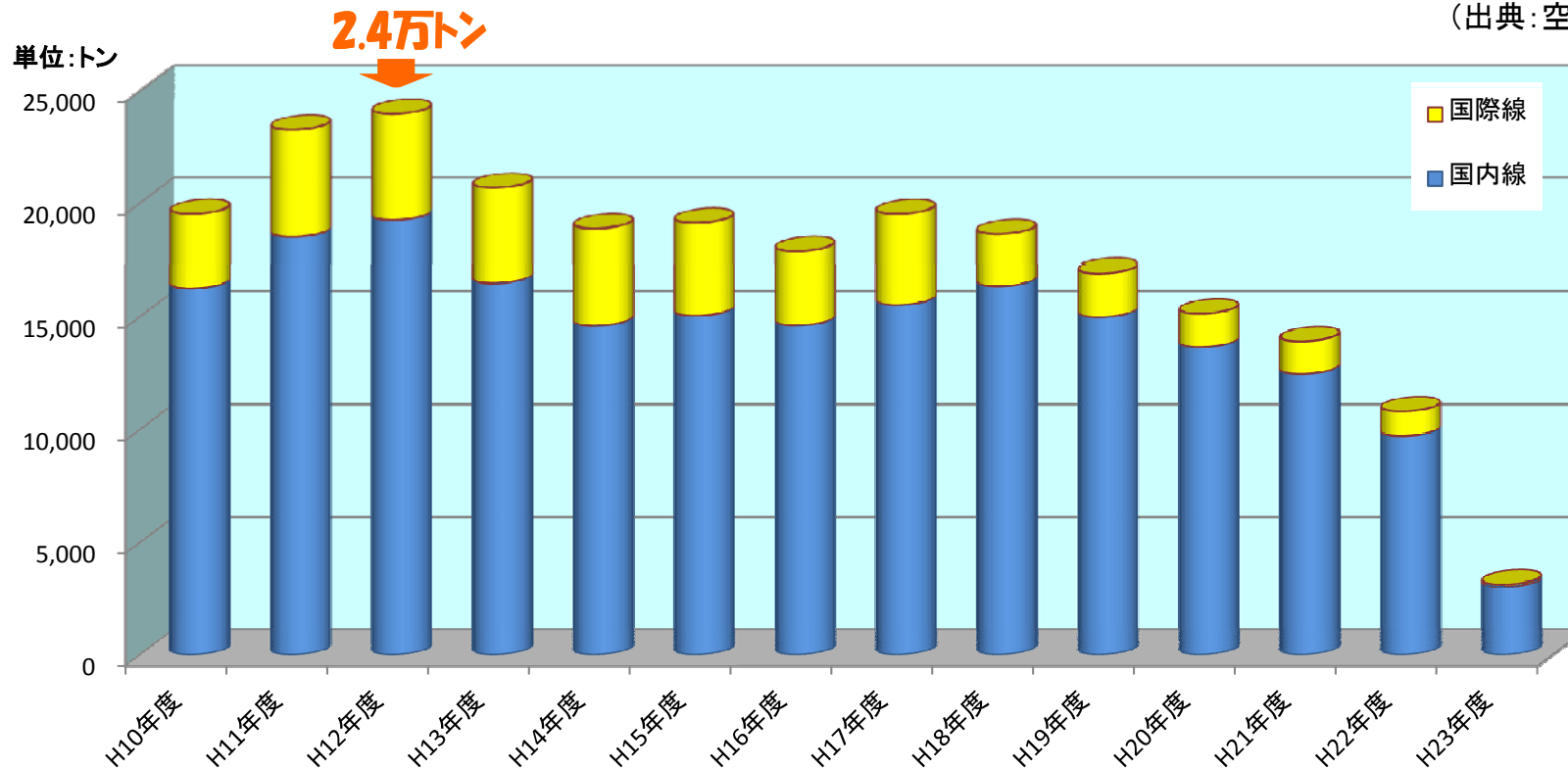
- ・ 仙台空港貨物取扱量は、平成12年度を境に年々減少し、平成22年度は1万1千トン程度
- ・ 震災の影響を受けた平成23年度は3千トンまで減少

【仙台空港貨物取扱量の推移】

(単位:トン)

年度	H10年度	H11年度	H12年度	H13年度	H14年度	H15年度	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度
国内線	16,248	18,480	19,232	16,484	14,598	15,041	14,613	15,525	16,349	14,979	13,645	12,462	9,714	3,037
国際線	3,252	4,767	4,716	4,172	4,250	4,060	3,228	3,970	2,253	1,925	1,488	1,439	1,089	104
計	19,500	23,247	23,948	20,656	18,848	19,101	17,841	19,495	18,602	16,904	15,133	13,901	10,803	3,141
対前年度比	86.8%	119.2%	103.0%	86.3%	91.2%	101.3%	93.4%	109.3%	95.4%	90.9%	89.5%	91.9%	77.7%	29.1%

(出典: 空港管理状況調書)



4. 東日本大震災による仙台空港等の被災状況

- ・平成23年3月11日14時46分東日本大震災発生・15時56分津波襲来
- ・空港全体にがれき・車輛が流入
- ・旅客ターミナルは1階が水没 ※津波の高さ3.02m
- ・貨物ターミナルの国際貨物棟は火災により全焼
- ・アクセス鉄道は、仙台空港駅及び空港トンネルを中心に甚大な被害



5-1. 空港の啓開作業

仙台空港における前田道路の事例

がれきで埋まった仙台空港が震災後約1ヵ月で再開(4/13)
→ 米軍が自衛隊とともに実施した、いわゆる「**トモダチ作戦**」の成果とされた

この「トモダチ作戦」の成功には、**建設業の皆様が大きくかかわった**

米軍輸送機C-130が着陸できるように、
3/15までに滑走路1500メートル分の
がれきを撤去



3/16到着した米軍輸送機C-130

大量の被災車両の運搬は米軍が、
行方不明者の搜索活動は自衛隊が、
そして大量のがれきの撤去は、
建設業者が行った。



仙台空港で
がれき撤去
を進める
前田道路の
重機
(河北新報
記事より)

5-2. 空港の復旧の道のり

H23.4.13 運航再開



出発1番機

H23.7.25 国内定期便・国際臨時便再開



国内定期便到着便のお客様お出迎え

H23.9.25 空港ビル完全復旧, 国際定期便再開



復旧, 再開セレモニー

国際定期便の運航再開経過
ソウル便 H23. 9. 25～
(H24. 5. 21～デイリー)
グアム便 H23. 10. 2～
(H24. 10. 1～増便)
台北便 H23. 10. 30～
上海／北京便 H24. 3. 25～
大連／北京便 H24. 3. 27～
長春便 H24. 7. 30～
※大連／北京線、長春線は
H24. 10～運休中

H23.10.1 アクセス鉄道全線運行再開



全線運行再開セレモニー

仙台空港発着便の旅客数が順調に回復！

● 震災前※と比較すると、

国内線：ほぼ100%

国際線：約70%

※ 震災前(平成22年4月～12月)

区分	H22年度	H23年度	H24年度	H24/H23対比		H24/H22対比	
				比率	増減数	比率	増減数
国内線	1,973,162	1,240,180	1,950,706	157%	710,526	99%	▲ 22,456
国際線	203,633	32,511	140,809	433%	108,298	69%	▲ 62,824
計	2,176,795	1,272,691	2,091,515	164%	818,824	96%	▲ 85,280

※各年度累計(4～12月)

※資料：H22年度は国土交通省「空港管理状況調書」、H23・24年度は宮城県調べ速報値

国内定期便の便数が過去最高に！ ～2013年夏ダイヤ発表～

- 各航空会社が、2013年夏ダイヤ期間(H25.3.31～10.26)における運航計画を発表
- 計画によると、増便が図られ、仙台空港国内定期便の便数は、昭和39年3月の仙台空港開港以来過去最高に。一部機材は大型化され、輸送力拡大。

【H25.3.1現在】 1日45往復



【H25.9.1時点】 1日61往復



過去最高

(往復/日)

国内定期路線			
路線	H25.3.1 現在	H25.9.1 時点	増減
札幌(新千歳)	13	18	5
成田	2	2	0
小松	1	2	1
名古屋(中部)	6	7	1
大阪(伊丹)	15	18	3
大阪(関西)	0	3	3
広島	1	2	1
福岡	6	8	2
沖縄(那覇)	1	1	0
計	45	61	16

LCC東北初就航!

- ◇ピーチ・アビエーションによる「仙台—大阪(関西)線」初就航
- ◇東北では初めてとなるLCCの就航で、仙台空港の利便性が更に向上



- 1 運航開始日:平成25年4月12日
- 2 運航便数 :1日2往復 ※9月1日から1日3往復
- 3 運賃 :4,390円~18,890円

「仙台—ホノルル線」就航!

- ◇ハワイアン航空による
国際定期便「仙台—ホノルル線」就航
※往路は新千歳経由
- ◇仙台—ホノルル定期便は約10年ぶり

- 1 運航開始日:平成25年6月26日
- 2 運航便数 :週3往復

海外空港との友好協力協定の締結

仙台空港ビル(株)と海外の空港の管理者が、友好協力協定を締結。

(締結先)
H24. 8
長春龍嘉国際空港
H24.11
グアム国際空港



6. 仙台空港の経営改革の実現に向けた取組(1) 宮城県

- ・ 国管理空港の運営の民間委託の推進の動き
- ・ 空港関連5事業の一体的経営を通じた空港活性化に向けた検討開始
- ・ 官民による「仙台空港等活性化検討会・臨空地域等活性化検討会」の立ち上げ(H24.2)
- ・ そのうち部門別研究会の立ち上げ → 国, 民間, 県の三位一体による運営, 5事業全体最適化を提言

仙台空港等活性化検討会・臨空地域等活性化検討会

・国・民間・県の三位一体による運営
・5事業全体最適化

・周辺も含めた成長戦略をもった空港経営

・特区を活用した高次サービス可能な物流拠点の整備

提言・報告

仙台空港
活性化研究会

提言・報告

仙台空港
周辺開発研究会

提言・報告

国際物流
拠点化研究会

経営一体化に向けた
具体的検討

滑走路



駐車場



旅客ターミナル



貨物ターミナル



アクセス鉄道



PFI法の公共施設等運営権制度を活用した
国管理空港の運営の民間委託の動き

6. 仙台空港の経営改革の実現に向けた取組(2) 宮城県

仙台空港の経営改革に関する宮城県基本方針の策定(平成24年10月)

【仙台空港のあるべき姿】

- (1) 多くの旅客や貨物でにぎわう空港
- (2) 東北地方の復興と発展をけん引する空港
- (3) 民間の力を活用した地域と共に発展する空港



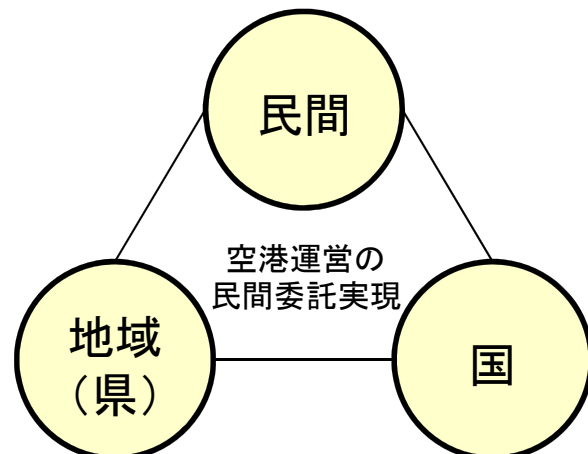
【実現に向けた戦略】

- (1) 民間の経営手法による抜本的な空港経営改革
- (2) 民間、国及び地域が一体となった空港経営



H23.9.25

完全復旧した旅客ターミナルビル



民間の知恵を最大限に生かした航空旅客及び航空貨物の増大

⇒ 600万人／年, 5万トン／年

7. 空港経営改革の実現に向けた課題

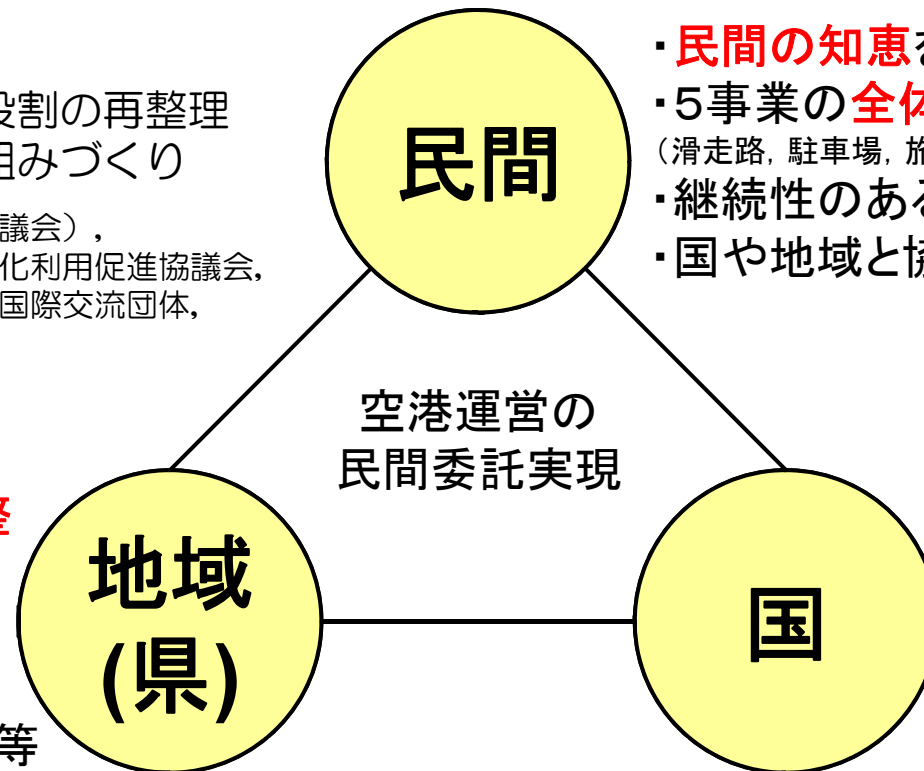
- ・ 事業の円滑な移管 → 関係者の協力関係の維持
- ・ 空港運営権者・国・地域の役割分担, 協力・協調関係の構築

仙台空港を核とした地域の活性化

既存組織が果たしてきた役割の再整理
⇒協力・協調・連携の仕組みづくり

利用者利便向上協議会（法定協議会）、
周辺対策協議会、仙台空港国際化利用促進協議会、
経済関係団体、観光関係団体、国際交流団体、
その他各種交流団体・・・

- ・ 関係者との**対話及び調整**
- ・ 関係者が協力・協調した
空港経営の**環境づくり**
- ・ **航空需要の喚起・創出**
(観光振興・産業振興) 等



- ・ **民間の知恵**を生かした空港運営
- ・ 5事業の**全体最適化**
(滑走路, 駐車場, 旅客ターミナル, 貨物ターミナル, アクセス鉄道)
- ・ **継続性のある安定した**空港運営
- ・ **国や地域と協力・協調した**空港運営

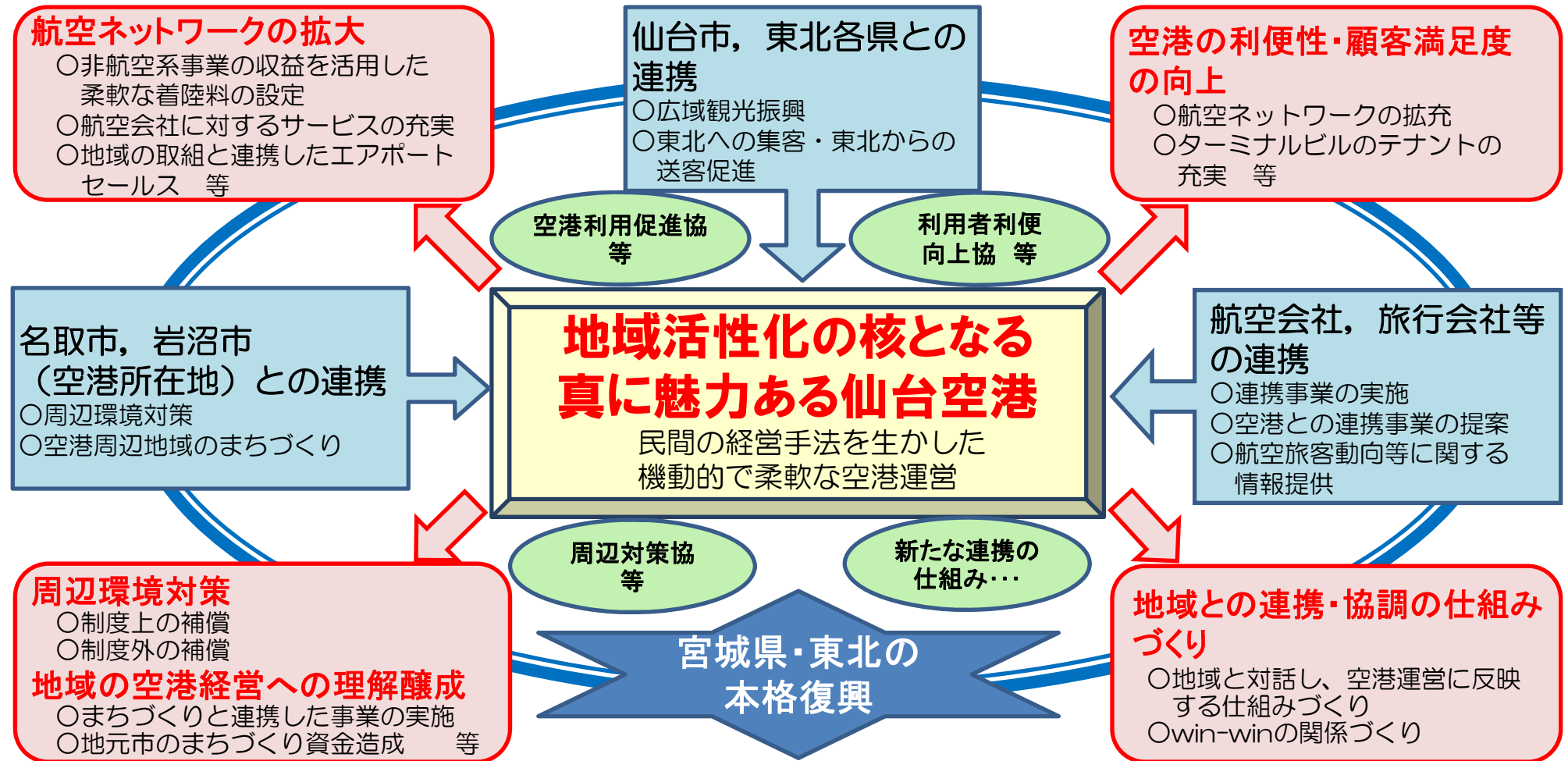
- ・ 空港運営権者の
経営戦略の尊重
- ・ 空港経営改革の制度設計
及び事業者選定への
県の意向の反映
- ・ **リスク・コスト分担の明確化**
- ・ **空港運営の継続性の確保**
等

等

8. 復旧にとどまらない抜本的な再構築へ

大震災からの復旧にとどまらず，民間の経営手法により空港経営を抜本的に改革するとともに，地域や国が連携して空港経営をバックアップする新たな空港を実現し，宮城県のみならず東北の経済の活性化を図り，着実に復興を成し遂げる。

多様な関係者の連携のイメージ



仙台空港：1千万人を擁する東北の空のゲートウェイ

ご清聴ありがとうございました

宮城県



復興をリードします

見える復興
見せる復興

宮城県土木部

がんばるっちゃ!

